

<白金標準、中国の景気刺激策の失望で再度 4600 円固めへ・・・>



(出所：オアシス)

中国政府は国慶節明けに国家発展改革委員会の 5 人の高官を含む記者会見を行ったが、追加の経済対策がなかった事から失望で香港市場の株価が 11%を超える下落を行い、鉄鉱石から非鉄金属など中国の景気対策期待で買われた商品が一転して売られている。そのため白金標準先物は、一時 4793 円から 4527 円まで下げている。しかし国務院新聞弁公室は、藍仏安財政相が 12 日日本時間 11 時から開く会見で、景気下支えに向けた財政政策の強化策を紹介し記者からの質問にも回答すると発表し、また中国人民銀行は大口投資家が 5000 億元のファシリティーからの資金を利用して株式を購入可能とする株価対策を発表すると週末には一時 4727 円まで高値を試すも、藍仏安財政相の記者会見では、地方債務リスクを軽減し、国有銀の資本不足を補い、不動産セクターを下支えする処置を発表したが、市場の期待した 41 兆円規模の具体的な金額に言及しなかった事から失望売りが強まっている。そのため具体的な金額が提示される全人代常務委員会まで下値模索の動きに注意が必要であり、4600 円を固める値動きに注意が必要と思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** の上昇が止まりながら重なっている。RCI では **短期** が下げながら、**長期** も切り下げている。そのため日足が再度 **200 日移動平均線** を試す可能性は高く 4600 円に向けた修正に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,452,000 円(2024 年 10 月 15 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2024 年 10 月 15 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>